

第 1 回小中学校プールのあり方検討会議記録

日 時：2023 年 7 月 7 日（金）午後 6 時から 7 時 10 分

場 所：市役所東庁舎 3 階理事者控室

出席者：別紙名簿（新井校長欠席）、傍聴 3 人

教育長あいさつ：

- ・全国的に水泳授業のあり方を見直す動きがある。
- ・新たな時代にふさわしい水泳授業のあり方を検討して欲しい。

自己紹介

内 容：

座長は松本森上小学校校長にお願いした。

1. 検討会議の目的等について

≪中村学校教育課長より説明≫

- ・別紙「小中学校プールのあり方検討会議の考え方」により説明

2. 学校プールの現状について

≪中村学校教育課長より説明≫

- ・別紙「小・中学校水泳プール設置（保有）状況」により説明
⇒15 校中 40 年以上経過している学校が 9 校。内 4 校は 50 年以上経過。
プールの規模は児童生徒数に関係なく同規模。
- ・別紙「小・中学校水泳プール改修状況」により説明
⇒長寿命化計画によりプールシート防水工事とろ過機の更新工事を進めているが、豊丘小学校については費用対効果を検討して 2021 年度に予定していたプールシート防水工事を見送っている。
- ・別紙「小中学校児童生徒数の推移（1990～2023）予想（2026～2029）」により説明
⇒今から 33 年前の 1990 年は児童生徒数の総数が約 7,000 人だったが、現在はほぼ半減して約 3,600、6 年後の 2029 年には約 3,200 人になる予想。豊丘小学校は 33 年前に 254 人の児童がいたが、現在は 57 人、6 年後は 35 人の予想。
- ・別紙「小中学校プールの維持に必要なコスト予想（2023～2042）」により説明
⇒20 年間の維持管理コストを年度ごとにまとめたところ、小学校では 1 校当たり最低でも約 5,000 万円。中学校では約 4,700 万円。
一人当たりの水泳授業 1 回のコストを計算すると、豊丘小学校は 4,342 円となる。長電スイミングでは送迎含めて一人当たり 1 回 2,750 円で受け入れるとのことから、自校プールでの水泳授業よりも安くなる。小学校では 89 人、中学校では 84 人を下回ると長電スイミングの方が安いという計算。

3. 他自治体の取り組みについて

《中村学校教育課長より説明》

⇒茨城県下妻市（他校のプールを共同利用）、岡山県倉敷市（他校のプールを共同利用）、愛知県常滑市（公営プールを活用）、佐賀県伊万里市（民営プールを活用）、石川県志賀町（民営プールを活用）、長野市（公営プールと民営プールを活用）の取り組みを説明
基本方針の策定例として島根県安来市の基本方針を紹介

4. アンケートの内容等について

《中村学校教育課長より説明》

⇒別紙アンケート案により、豊丘小学校の児童と保護者、水泳授業に関わった教員、高甫小学校の児童と保護者、水泳授業に関わった教員にアンケートを実施したい。
実施時期は水泳授業終了後。

委員：児童生徒数のグラフは縦軸を合わせないと正確に比較できない。

インストラクターの費用はいくらだったのか。

⇒今回インストラクターは3回の指導を66,000円でお願ひできたが、この価格は今回だけと言われている。

委員：前任校ではプールの水漏れの場所がわからず、全面改修の費用と外部プールの利用を比較して外部プールの利用となった。

委員：市の方向性を他の自治体の取り組みを参考にしながら探っていくと思うが、移動方法や、屋外プールか屋内プールかという点も課題。天候に左右された子と、屋内でできた子との差が生じてはまずいと感じた。屋外プールではハチに刺されたり、水面に浮いている虫をバタ足で集めてすくい取ったりなどの苦勞もしている。気持ちよく学習できる環境を提供したい。

委員：季節はどう考えるか。

委員：夏休み前が有効

アンケートはインストラクターにもしてみたらどうか。

委員：一緒に授業をやることについてはどうか。まったく知らない存在がプールを使っていることについて気を配った方がいいと思う。

委員：本当は一緒に授業をやってほしかった。豊丘小の児童と一緒に授業を受けたかったか聞いてみたい。

委員：実際に今年はどうだったのか。

次回、豊丘小の先生に来てもらって説明してもらったらどうか。

5. 次回日程について

今回は9月20日（水）午後6時から